

今日すること

カメラ少知識習得と操作実習②+グループ企画&インタビュー課題の準備

- インタビュー撮影課題の準備（操作練習一通りしたら）とインタビュー動画の撮影
- グループ企画つめ、ストーリーボードの作成、撮影実習下準備（17:30までは確実に残ってやる）
- アナウンス: リフレクションは締切を10月末にする

カメラ撮影実習

撮影実習 今日のゴール

- カメラ操作を実際に行い、最適なインタビュー動画素材を撮るための知識を得る
- カメラの設置位置を意識できるようになる
- インタビューする人、される人になり、カメラに向かって話すことになれる
- 状況に応じて、カメラの設定を変えることができるようになる



今日の基本ができるようになると

- カメラの種類が変わっても応用が聞けるような設定の基本を知ることができる
- インタビューの撮影の仕方を知ることによって、ドキュメンタリーや海外ではスタンダードな映像撮影の基本がわかり、色々な場面で応用できるようになる
- Vlog、オンライン上のメディア・コンテンツ作り、**talking-head-video**に応用が効く



撮影の基本セッティング

基本セッティング

ミラーレス含めDSLRと言われるもの

- マニュアルにする = オートだと場面が変わるごとに勝手に設定が変わるの防ぐため
- 動画のフレームレート = 基本30fps (29.97fps)にすると問題ない
- シャッタースピード = 基本フレームレートの2倍。ただし、蛍光灯が映るのであればチカチカするのを防ぐために = 東日本: 1/50か1/100、西日本: 1/60または1/120



基本セッティング

ミラーレス含めDSLRと言われるもの

- **絞り (F値、Avとなってるもの) : ぼかしたい場合は、一番低い数字、ピントを併せたいのであれば高くすす**
- **ISO感度: 基本は100か200。オートにしない。この数字が高くなるとノイズが入り、ザラザラとした画像になる**
- **→ 訂正: 部屋がそれほど明るい感じではない場合は、ISO 400か800に設定。(先生が撮影した写真や動画を見たら、設定は400から800だった)**



カメラ雑学

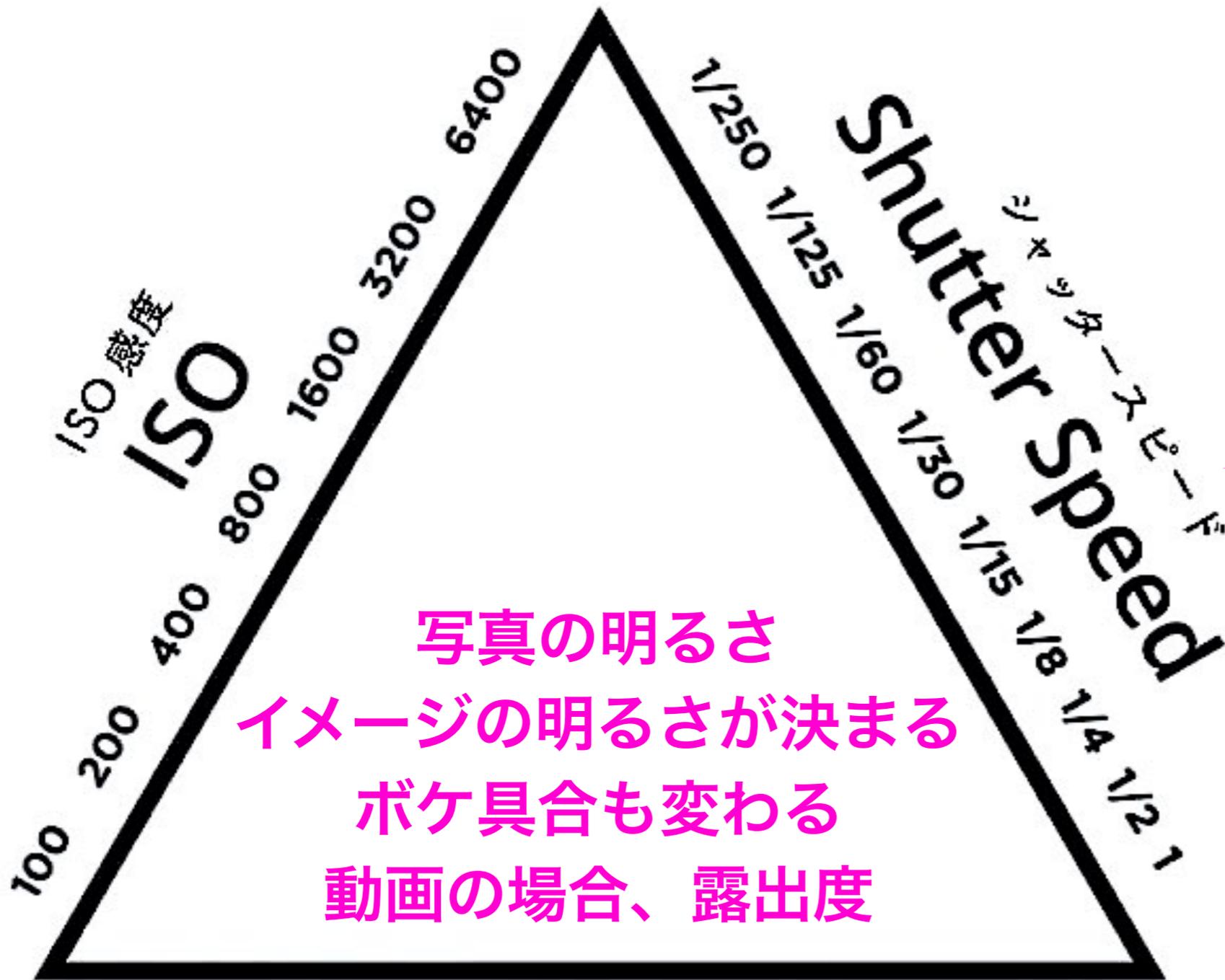
カメラ雑学

ミラーレス含め**DSLR**と言われるものと、セミプロビデオカメラ

- 絞り = レンズからセンサーに入る光の量を調節する部分
- シャッタースピード = シャッターが開いている時間
- **ISO** = デジタルカメラのセンサーがどれぐらい光を認知できるかの値（昔はフィルムの光感度）

以上の3つを調節することで、見え方、ボケ具合などを変え、写真や動画の表現方法を変えられる





写真の明るさ
 イメージの明るさが決まる
 ボケ具合も変わる
 動画の場合、露出度



F/2.8 F/4 F/5.6 F/8 F/11 F/16 F/22

Aperture

絞り値

シャッタースピード
 が早すぎる
 (1/1000とか)だとチラつく
 スポーツやダンスなど
 では一時停止をする
 前提でシャッター
 スピードをは



F1.4 F2 F2.8 F4 F5.6 F8 F11 F16 F22 F32



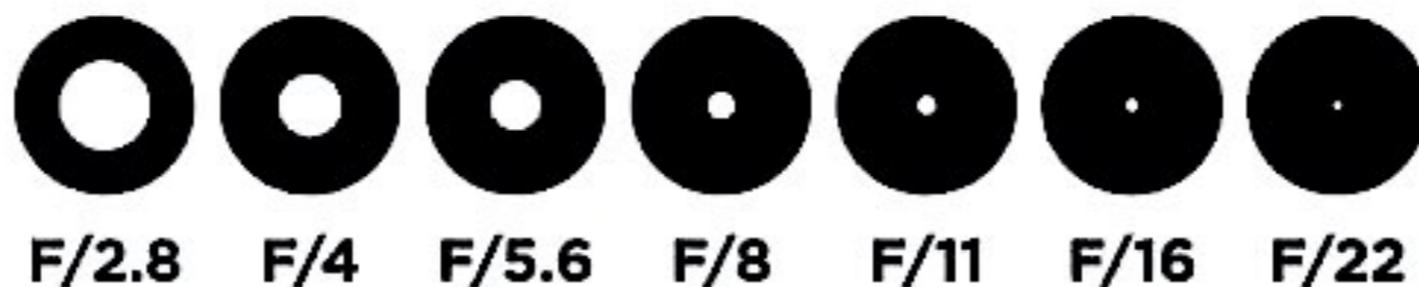
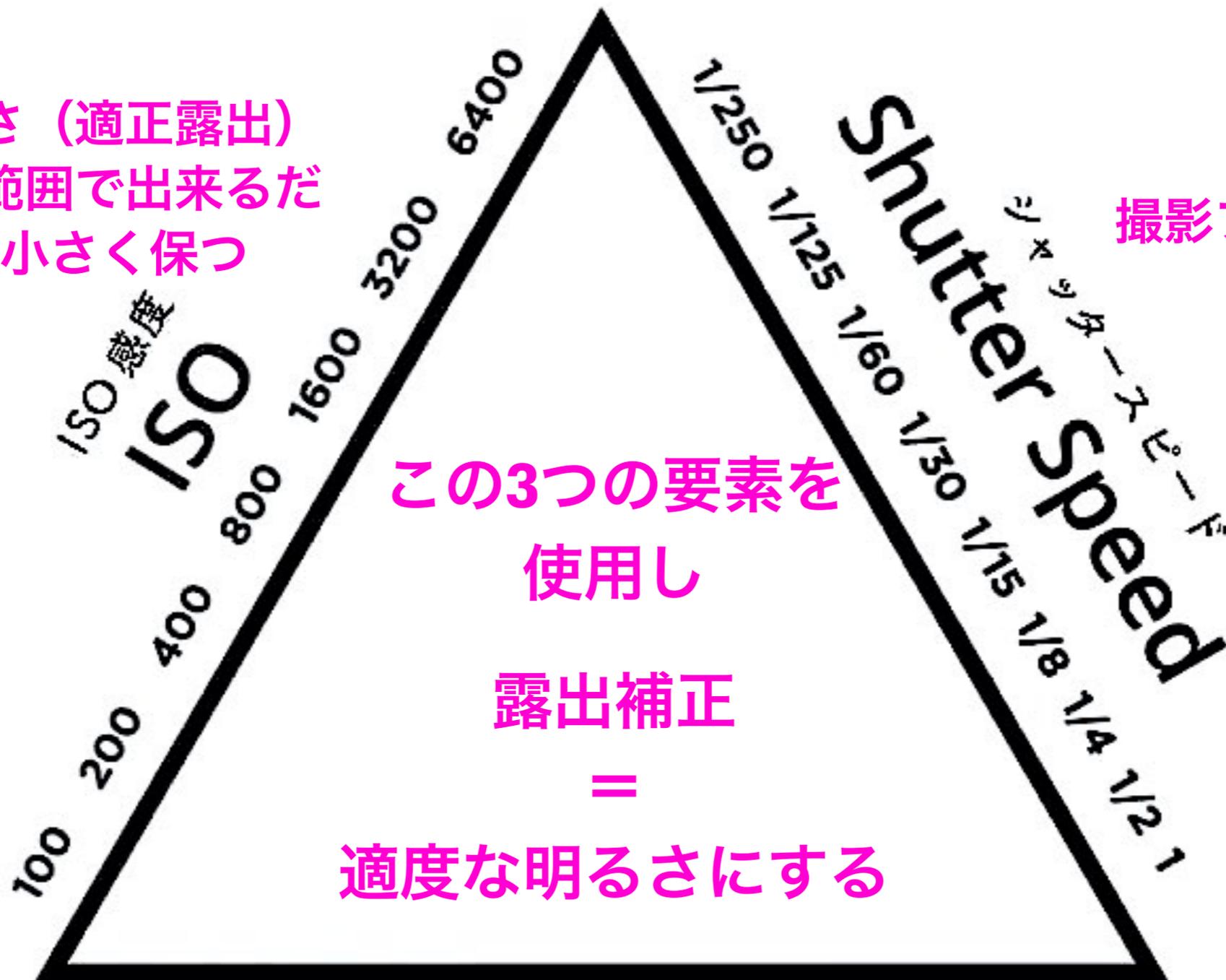
1/1000 1/500 1/250 1/125 1/60 1/30 1/15 1/8 1/4 1/2



ISO 50 ISO 100 ISO 200 ISO 400 ISO 800 ISO 1600 ISO 3200 ISO 6400 ISO 12800 ISO 25600

適度な明るさ（適正露出）
が得られる範囲で出来るだけ
数字を小さく保つ

撮影フレームレートの
2倍値



Aperture

絞り値

好みのボケ感を調整
数字が低ければ背景
がボケやすくなる

カメラ操作に入る前に

気をつけてもらいたいこと

ミラーレス含めDSLRと言われるもの

- レンズを掴んで運ぶ場合...レンズがしっかりついているか確認
- レンズを外すボタンをうっかり押すことの内容にする
- 落とさないようにする（心がける）
- 湿気があるところは長時間は避ける
- グリップをしっかりと持つこと
- インタビューの時は三脚はマスト

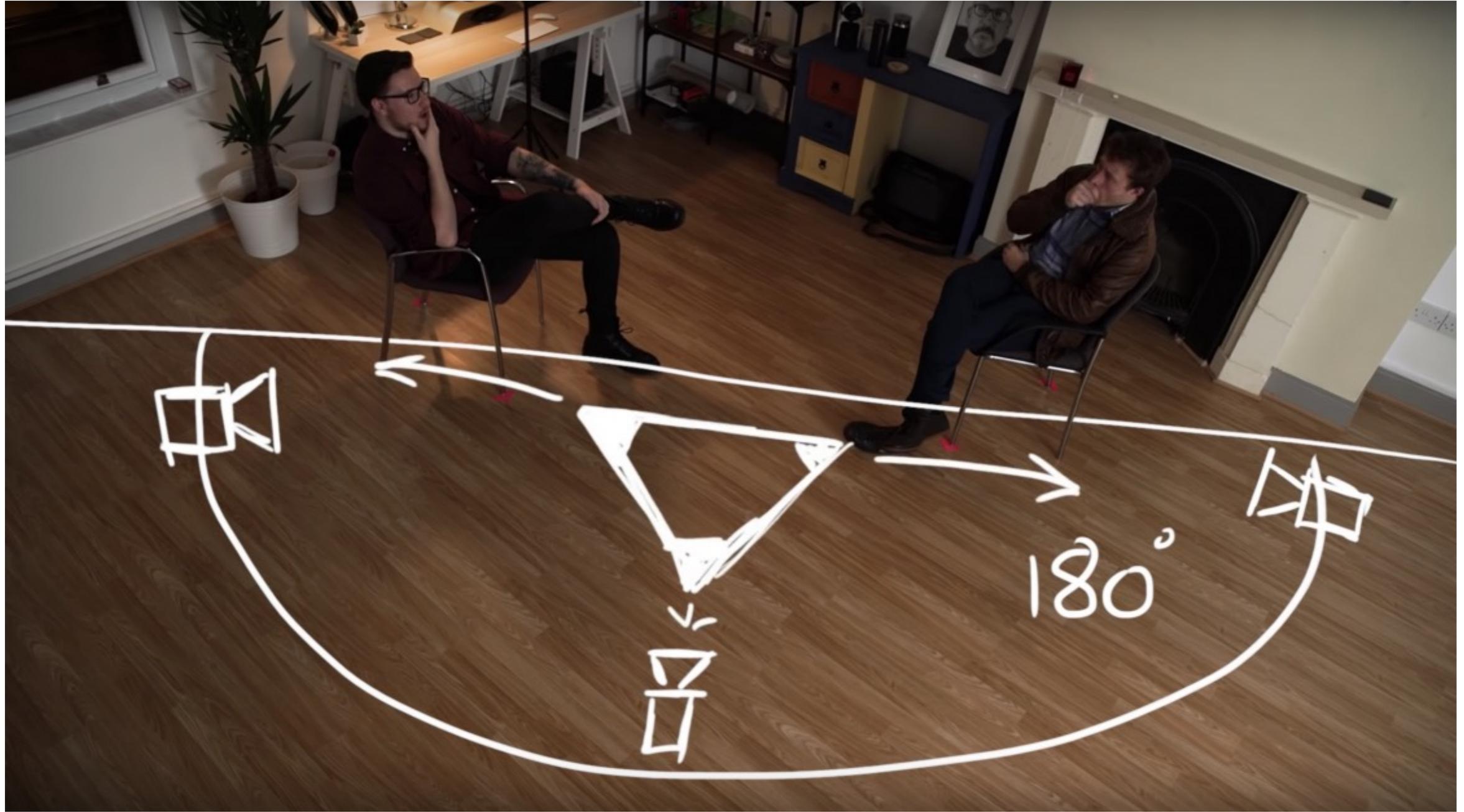


気をつけてもらいたいこと

ミラーレス含めDSLRと言われるもの

- **どういうふうに見えるかきちんと確認**
- 人を撮影する時、緊張をほぐすよう撮影者は気を使うこと
- **視線をどこにしてもらうか決める。カメラ視線か、インタビューしてる人に対してか**
- 2カメラ以上で撮影する時は、編集も考えて、イマジナリーライン（別名180度ルール）のラインを超えないようにカメラを設置
- **意図してルールを破るのはOk**





操作実習にいけますか？

インタビューできる状態ですか？

グループ企画に関して

**企画作り
撮影計画
日程**

グループ作品

- 撮影スケジュール
- 撮影場所、日時
- 集合時間、撮影時間、撤収時間（おおよそ）
- その他: 追って必要事項を先生が確認する場合あり（教務と課外授業許可の手続きをする際）

グループ作品

- 企画書の具体化
- + 決めたテーマに関して専門家になるための下調べ
- + 下調べするようなテーマでなければ、google earthやmapで仮のロケーションハンティング
- 撮影計画など、進行計画、可能なら天気も考慮して予備日なども考える

グループ作品

- 仮のストーリーボード、アウトライン、ストーリー、話しの流れをイメージまたは文字で書いていく → 目的:作品のストーリーの大枠を決めてしまう
- それができたら、必要な機材、必要な作業、全部書き出し
- 撮影から編集までの大まかなスケジュールを立てる
(企画書と重なるけど)

余裕があったら

個人の作品もどうするか考える

グループで作ってもらいたい作品

作品について:
選択肢:

1. インタビューを入れたもの
2. ショートドキュメンタリー/教育番組/ハウツー動画
3. 自分たちで決めたテーマ（ただし、メッセージ性のあるもの、意図を明確にし、不特定多数の人にも伝わるようにすること）



グループで作ってもらいたい作品

作品について:
思いつかない場合

1. 大学に関係すること（先生たちの研究などをもとにしたものなど）
2. 自分の身の回りに関係したテーマや問題（就活、生活全般など）
3. エンターテインメント（社会問題をテーマにしたお笑い、ダンスなどのパフォーマンスを扱ったもの、可能な範囲で単に紹介する以外のもの）
4. ドラマ（何か意図があるものであればいい）
5. SNSに適したショートストーリーや10分の動画



中間まででは変更可

17:30までは確実に作業

その後はおいおい解散